



くるにゃん通信



この度能登半島地震により、被災された皆さまに心より

お見舞いを申し上げます。また、被災地域において、救援や

復興支援などの活動に尽力されている方々に深く敬意を表しますとともに、被害を受けられた皆さまが一日も早く、平常の生活へ戻れますよう、心よりお祈り申し上げます。

今年は、年明け早々に能登半島地震、そして4月17日の深夜には豊後水道を震源とする地震が発生し、愛媛でも最大震度6弱を観測したことは皆様の記憶に新しいと思います。「他人事ではない。」と感じるとともに、「今できることは何か。」と真剣に考える機会が与えられましたね。

先日(令和6年6月15日)の愛媛県介護支援専門員協会総会では、特別講演として『愛媛県災害時要配慮者支援チームの活動』と題し、DWAT派遣として能登半島現地で支援活動を行った二名の災害担当理事の報告発表がありました。現地での貴重な体験から学んだことを、自分たちの備えに繋げていきましょう。



大雨



洪水



台風



地震



津波

さて、今回はこのお二人から特別講演では語られていない思い出エピソードを教えてくださいました。



●この方が答えてくれました●

済生会今治第二病院居宅介護支援事業所 さいせい
中村 一人さん

Q1：就労被災地で出会った忘れられない人、またはもう一度会いたい人を紹介してください。その人を有名人に例えるなら、だれですか。



同じチームで3日間一緒に活動した方です。年齢はおそらく同じくらい(50代程度)だと思いますね。グイグイだけど嫌味なく自然と話を聞き相手の懐に入っていく様子は「お見事」と言うしかなく、またお会いしていろいろな話を聞かせていただきたいと感じています。例えるなら少し太った千鳥の大吾さんというところでしょうか。



Q2：食事情・宿泊先の様子を教えてください。

おいしいもの、またその逆で口に合わないと感じたものはありましたか。

宿泊は、みな金沢のビジネスホテルでした。被災され住まいを失った方のことを思えば、横になれる場所があるだけでありがたかったです。

ホテルには2次避難されている方もいらっしゃいました。

金沢はおでんが有名なんですよ。郷土料理として地元金沢の食材を使っていることが特徴のおでんで、味わいはお店や地域によって違うそうです。

好みは皆さん違うので、味の感想もいろいろでした。

お土産に買っていったクラフトビールは好評でした。3本セットで「福井」「金沢」「富山」をイメージしたビールでした。



Q3：被災地に持っていきたいもののベスト3を教えてください。

- 1位 スマホ or タブレット 仕事もできる動画もみられるゲームもできる偉大なツール
- 2位 モバイルバッテリー 偉大なツールも電気がないとただの重りに・・・
- 3位 手ぬぐい 頭に巻いて帽子に、風呂敷代わりにと色々使えてさらに洗ってすぐ乾く



Q4：被災地活動で得た経験の中から、ケアマネジャーに伝えたいことを川柳に。

すいません、川柳はハードルが高いです。

伝えたいこととしては「備える」ことは非常に大事だと感じました。

1.5 次避難所での活動でしたが1か月半経っていても毎日のように運営上のトラブルやハプニングがあり、それに対処するためにあらかじめできることは決めておく、備えておく。そのうえでトラブル・ハプニングに対処する余裕を作っておくことが必要と感じました。この活動から得た教訓を、今後に活かしていこうと思います。



中村さん、ありがとうございました！

大吾似の方との再会が楽しみです。支援活動で繋がった
ご縁が、これからも続きますように。

手ぬぐいは機能的ですね。納得、納得！「備えあれば憂いなし」

●この方が答えてくれました●

居宅介護支援事業所ていれぎ荘
藤村 高弘 さん

藤村さんには、また違う切り口からの質問をしてみました♪

Q1：災害ボランティアに行くきっかけは何ですか？

東日本大震災で福祉関係者が災害ボランティアとし活動している姿をみて感化され、今後機会があれば是非行きたいという！強い思いがありました。また、自分自身も西日本豪雨で身近な地域が災害に合い、ボランティアを地元で経験していたことも影響が大きいです。



Q2：被災地で出会った印象的な方は？

交通事故で障がいを負った若い世代の方との出会いが印象的でした。その方はちょうど、復職直後に被災されたということで、二重の障壁があることを目の当たりにしました。ボランティア派遣の5日間に関わるには時間が短すぎ・・・後ろ髪をひかれる思いで現地を後にしました。今でも気になる方です。



Q3：被災地で重宝するツールは？

- ①マイ枕→被災地で活動できる体力とメンタルは良質な睡眠から！
- ②リュックサック→両手がフリーで活動できる！物の出し入れも便利！
- ③ダウンジャケット→寒い地域では特に必須！コンパクトに畳めるタイプがお勧め♪



Q4：今後わたしたちが暮らしの中で備えるべきものがあれば教えてください！！

災害ボランティアを経験して、備えるようにしたのは！！寝床にスマホと外靴です。
スマホ→就寝中に被災した際にすぐに助けを求められることや情報収集ができる！
外靴→被災状況によっては素足や靴下で歩くことが困難なことも想定される
ため(ガラスや瓦礫など)身を守ることができる！

またケアマネさんへプラスの備えとして伝えたいのは、面談技術です。被災地は、正直完全アウェイな場で面談を行うという究極の飛び込み作業です。自分自身の経験値からアンテナをフル活用！気づきの力を最大限に発揮し被災者の方々と関わることができました。それは、今までケアマネジャーとして多くの面談を積み重ねた経験が、被災地で活かせたと感じました。



藤村さん、ありがとうございました！藤村さんのお話を伺い、寝床に外靴！早速常備することにしました！ケアマネの武器でもある面談技術！さらに磨いていきたいと思いました♪



指定介護予防支援の対象拡大

介護支援専門員の高齢化やなり手不足、業務の煩雑さ、介護報酬の低さなどから、指定介護予防支援事業者としての申請について、様子を見ている居宅介護支援事業所が多いと思います。各市のホームページで確認できる範囲では、令和6年5月時点の松山市では12件(186居宅介護支援事業所の内)、令和6年6月時点で今治市3件(休止中をのけた53居宅介護支援事業所の内)、新居浜市6件(休止中をのけた49居宅介護支援事業所の内)と掲載されています。

居宅介護支援事業所が感じていることをまとめてみました。

◆介護予防支援の指定を受けるメリット・デメリット



メリット	デメリット
① 要支援と要介護をいったりきたりの利用者を一貫して担当できる。 ② 地域包括支援センターとの書類のやりとりが減る。 ③ 介護報酬を全額受け取ることができる。	① 要支援の利用者を断りにくなる。(要介護を優先したい) ② 市町村長に介護予防サービス計画の実施状況等に関して情報提供することが運営基準上義務付けになっているのが負担になる。 ③ 介護予防支援と介護予防ケアマネジメントとをいったりきたりするとその都度契約や届け出が発生する。 ④ 介護予防ソフトを購入する費用が発生する。 ⑤ 運営指導に対応できるか不安がある。

地域によっては

行政で介護予防ソフトを導入し委託事業所と共有している地域では、新たに指定を受けて介護予防ソフトを購入するのは負担が大きいという声もありました。

今後の動向にも注目していきましょう。(参考:介護保険最新情報 Vol. 1260)

指定でも、委託でも

介護予防支援事業所の指定を受けたからと言って、要支援の利用者を断りにくなるようなことはありません。運営基準に定められた担当件数に合わせて受け入れが可能か検討する必要があります。指定を受けた場合でも、委託で介護予防支援のプランを作成することができます。

ちょっとひと息

「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」へ



pixta.jp - 82846454

利用者・ご家族・ケアマネジャーのアフターコロナについての生の声を集めました！

・家族①施設や病院に面会に行くことができるようになってよかった。

顔を見ることで安心できる。10分でも話しをしたい。

・利用者①マスクをするのがめんどろだったが、デイに行くときだけにしている。

もったいないので洗っていたが、家族に怒られるので一日使ったら処分している。

②若い人はいろいろなところへ行けると喜んでいるが、年寄は遠い所へはいけない。

家族と一緒に会食ができることがうれしいくらい。

・介護関係者

① 半分趣味・半分本気でやっているテニスの試合がたくさん開催されるようになった。

東・中・南予にまたがり試合に参戦中！プロの試合観戦で東京へ旅行にも行けた！

また、実家(県外)に気兼ねなく帰省ができるようになった(独居の父が心配で...)プライベートはマスクを外して過ごせるようになった。

② 外食に別居家族とも気軽に行けるようになった。旅行にも県外の人に会うのに躊躇しなくてよくなった。野球観戦、ライブにマスクなし、声出しできるようになりストレス解消ができるようになった。

仕事では・・・訪問時に利用者の皆さんにマスクの着用をお願いしなくてよくなり気楽になった。zoomの研修に慣れてしまい集合研修が億劫になった。担当者がコロナ感染しても以前ほど濃厚接触者の割り出しや追跡調査があまりなくなったのでサービスの調整が負担にならなくなった。

③ マスクが外せるようになったこと(まだまだ医療機関以外でもマスクは必要ですが...)これが一番の喜び！県外におもいきり行けること(最高です)コロナがなかったら、家庭菜園などしていなかった事が今も継続していること。仕事先に訪問場所の届け出をしなくてよくなったこと。

★人とのつながりや自分時間の充実が感じられますね。あなたのアフターコロナはいかがですか？

発行元

一般社団法人

愛媛県介護支援専門員協会

〒791-0244

愛媛県松山市水泥町90-1

愛媛県介護支援専門員協会事務局

Mail

ecma20150418@gmail.com

編集後記

今回、災害派遣を経験したケアマネさんの貴重な体験をインタビューさせていただきました♪その中で、ケアマネジャーとして積み重ねてきた面談技術が活かされたという、藤村さんの声がとても印象的でした。みなさん、YOASOBIの「群青」というとっても素敵な曲をご存知でしょうか？この曲の歌詞やメロディは私自身の心に様々な角度でいい意味で刺さる曲です。歌詞の中に「積み上げてきたものが武器になる」という言葉があります。私たち、ケアマネジャーは、たくさんのご利用者さまやご家族さまと出会い、面談という対人とのやりとりの中で、その方の過去と現在と未来を繋いでいく仕事だと私は思っています。そこを繋いでいく、技術が面談かなと……。みなさんも日々の業務の中で、面談という技術を磨いていきましょう♪その経験こそが、自分自身の武器として今後ますます活かされていくはずです！！「群青」是非聞いて見て下さいね♪（横田）